

IJCAD 2014 の JWW ファイルの読み込み・書きだし機能について

機能内容

IJCAD2014 の JWW 読み込み書き出し機能は、以下の仕様となっています。

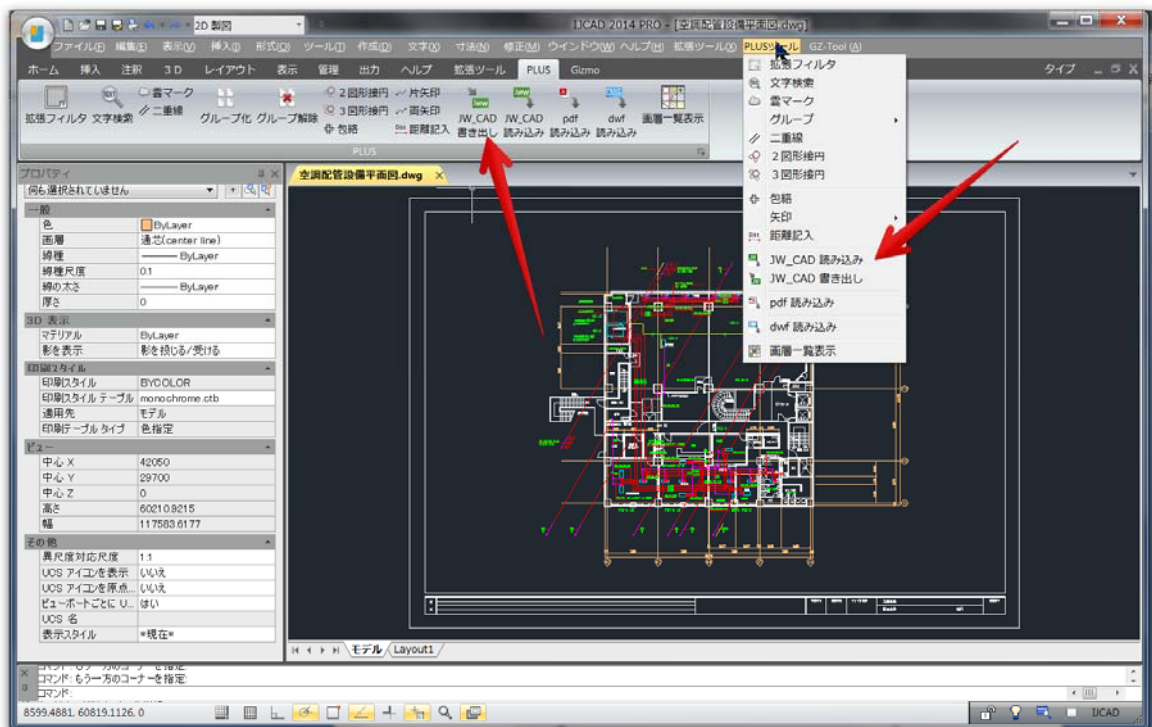
- JW_CAD Win 7.x 形式の入力・出力対応。
- 画像データ(BMP,JPG,TIF,PNG,GIF)の読み書き。
- Windows ビットマップの添付。
- 塗りつぶしハッチングの書き出し対応。
- 環境設定（JWWCONFIG）コマンドによる、設定編集

JWW 書き出しの流れ

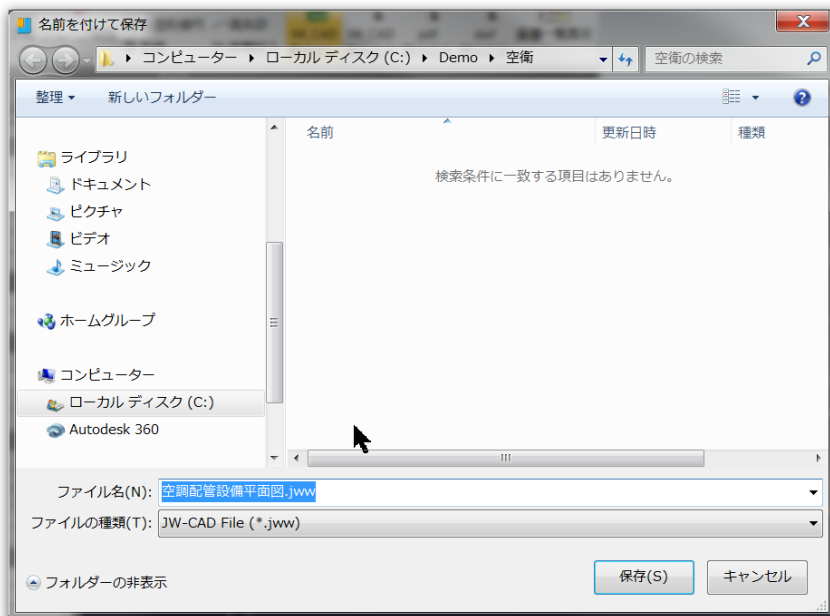
JWWCAD と DWG では、基本的な尺度の考え方が異なるため書き出しの際は、その差を考慮した書き出し操作となっています。

書き出しは、以下の手順で進めます。

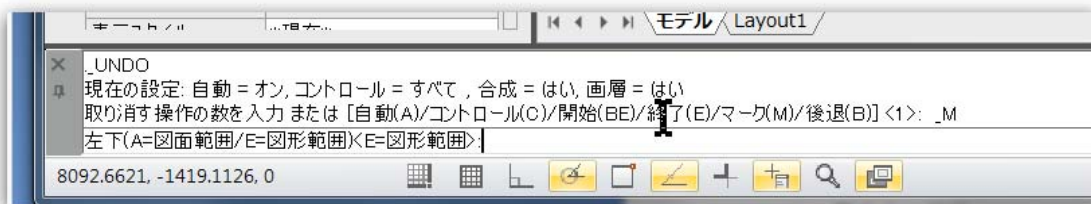
1. 書き出したい図面を開いておき、JWW 書き出しを実行します。



2. 書きだす JWW ファイルの保存先を設定します。



3. ファイルに書きだす範囲を指示します。



* 図

形範囲でよければそのまま **Enter** で次のステップになります。

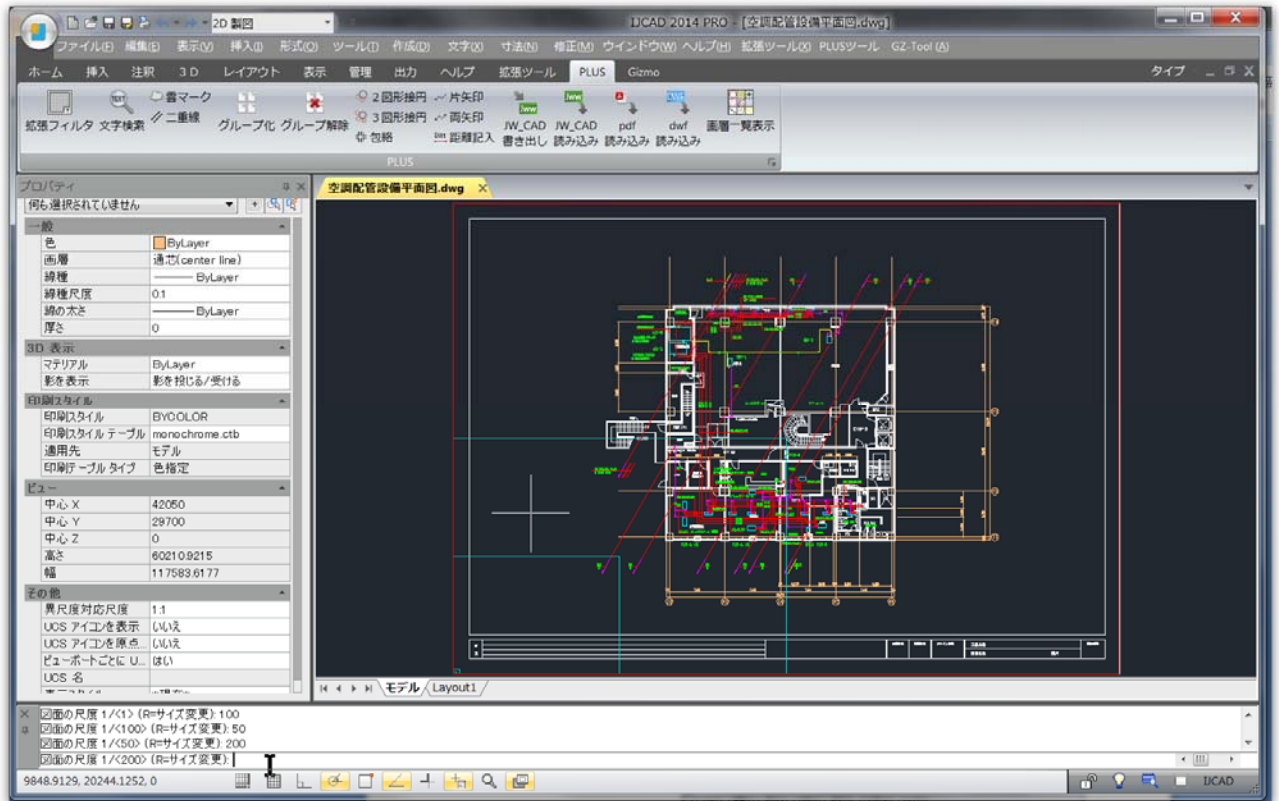
4. 用紙サイズを指定します。



5. 図面の尺度を指定します。

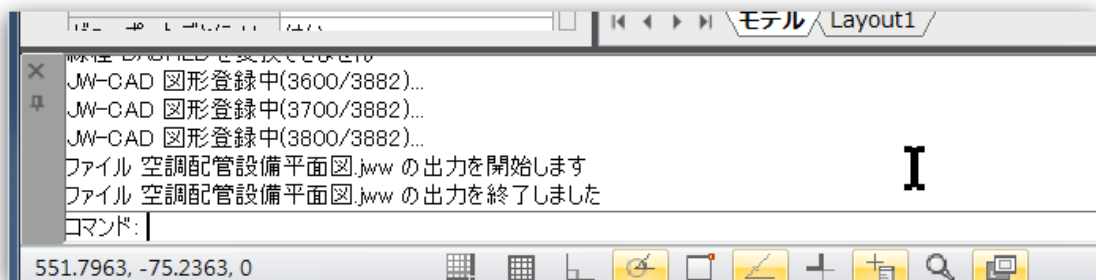
尺度は、分母の数値を入力します。つまり、1 : 100 であれば 100 [Enter] です。

尺度入力後に、作図領域に赤い枠が表示されます。サイズが合っていなかった場合は再度尺度を入力しなおします。問題なければ [Enter] で次に進みます。

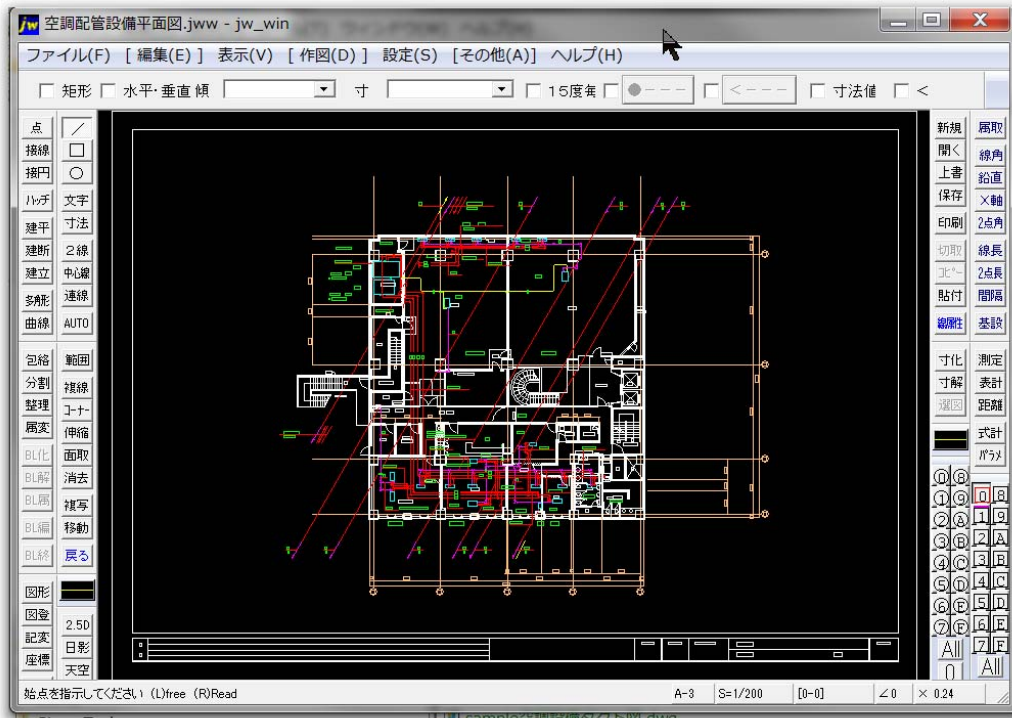


6. 書き出し終了。

(書き出し処理中は操作せずにお待ちください。)



7. JW_Win で開いてみます。

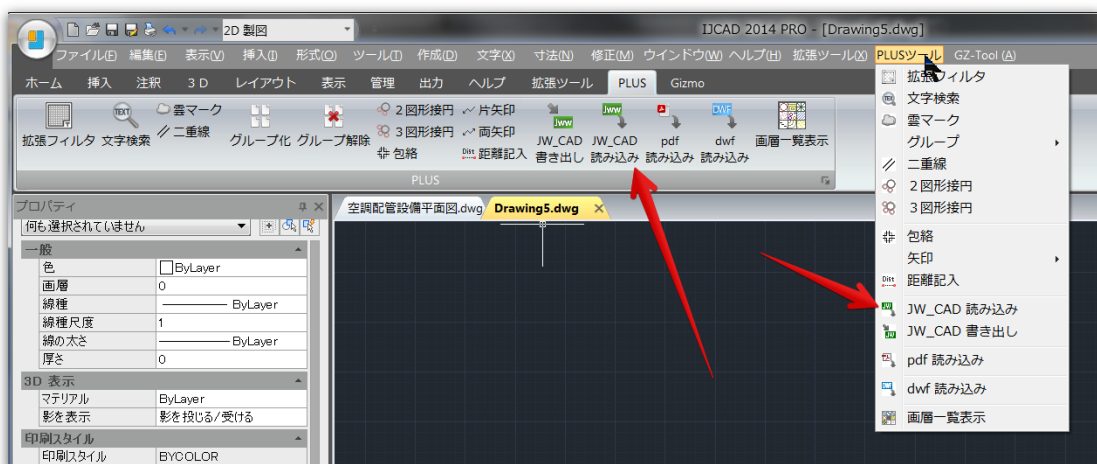


JWW 読み込みの流れ

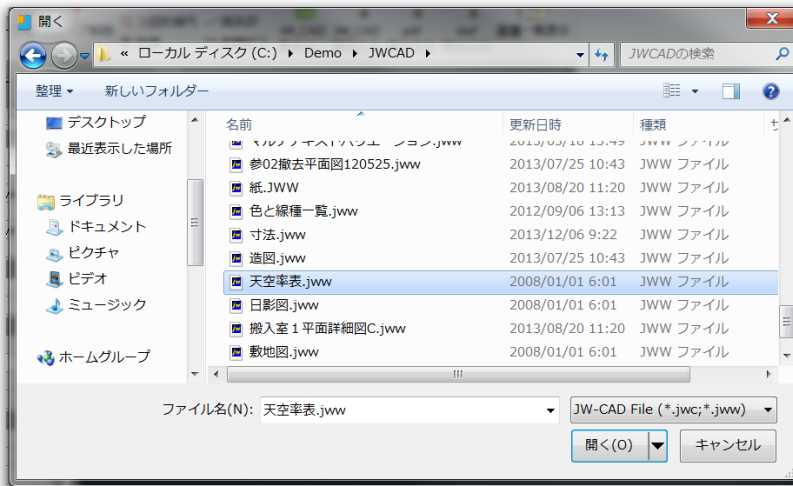
初期の設定では、JWWCAD 上での用紙サイズのまま読み込まれます。つまり、JWCAD 上で、1 : 100 の図面のファイルを読み込んだ場合、図面内容は 1 : 100 の状態で読み込まれます。通常 DWG で作図する原寸での寸法ではなくのでご注意ください。

(読み込み後に尺度変更コマンドで拡大するなどして下さい。)

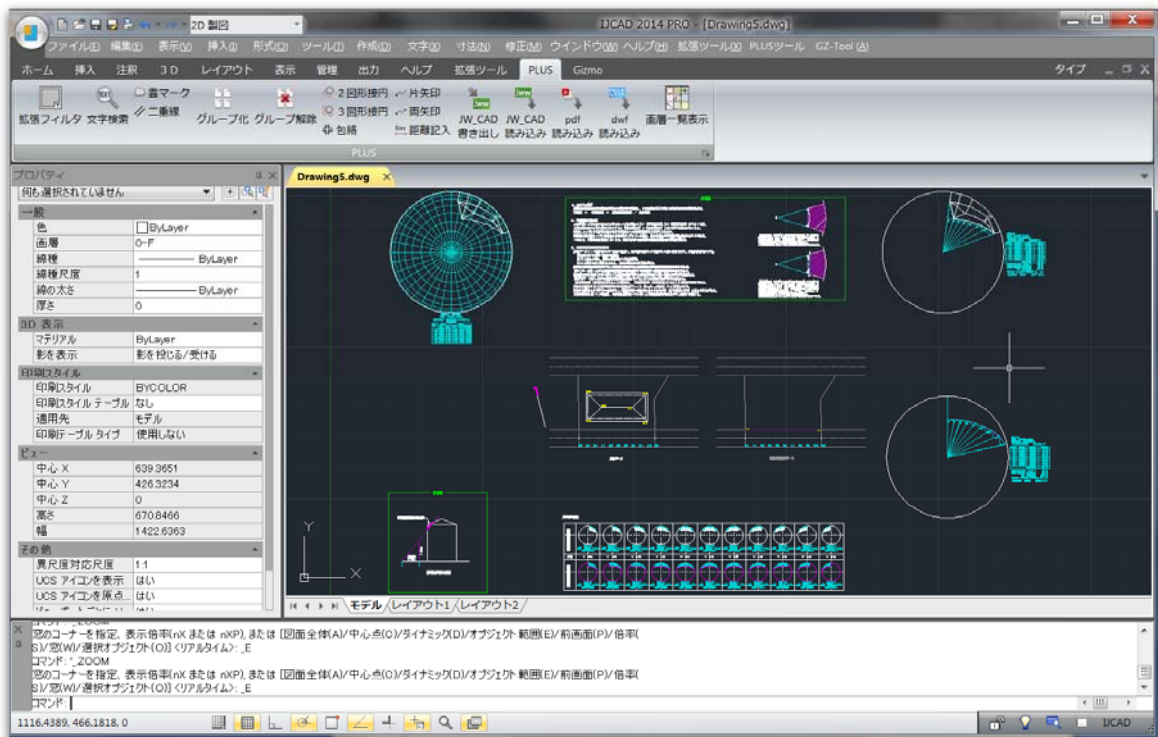
1. 新規図面を作成します。
2. JWW 読み込みを実行します。



3. JWW ファイルを選択して開くボタンをクリック。

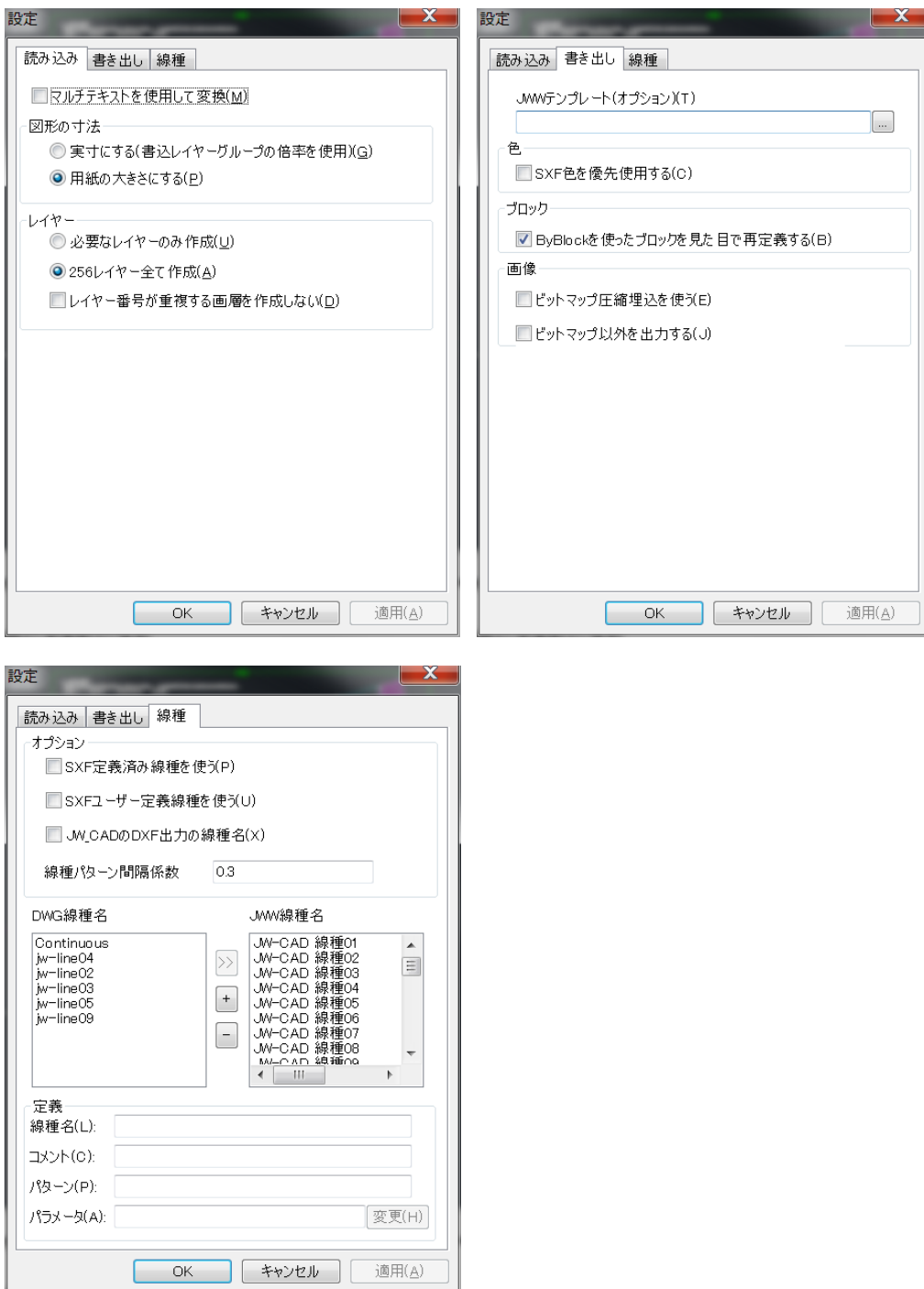


4. 読み込まれます。



JWW 読み込み・書き出しの設定

1. キーボードから **JWWCONFIG** と入力して **Enter** します。
2. 設定ウィンドウが表示されるので各種の内容を設定をして **OK** ボタンをクリックします。
(設定内容がよくわからない場合は、変更せずキャンセルボタンから終了してください。)



読み込みの設定で、「実寸にする」に設定して読み込んだ時にうまく読み込まれない場合は、「用紙の大きさにする」で読み込み後に、尺度変更コマンドで変更して下さい。